



# 岩崎 美幸

Iwasaki Miyuki

## 送迎の魅力にひかれて

今年1月から北房地域、落合地域の一部で実証実験が始まった、日本版ライドシェアによる乗り合い交通サービスの「イコーデ」。地域の新たな足として期待が集まる中、4人の運転手の中で唯一の女性として活躍するのが岩崎美幸さんです。

岩崎さんは元保育士。第3子の出産を経て一度は職場復帰するも、育児とフルタイム勤務の両立に困難を感じ、働き方を見直したそうです。配食サービスや建設会社での事務などを経て、現在は月曜から木曜日に福祉施設に勤務。水曜日の一部を福祉輸送サービス、金曜日をイコーデの運転業務に充てています。

# 真

MANIWA BITO

# 庭人

イコーデ関係者の皆さんと  
出発式での一幕



動画からメニューを  
決めた家族のお弁当



### 岩崎美幸さん(下皆部)

真庭市出身。福祉輸送サービスやコスモスの園で入所者の生活支援などを行いつつ、イコーデ運転手として活動。ショート動画鑑賞が好き。週末には冷蔵庫の中身とレシピ動画を参考に、家族のお弁当の内容を考えるのが趣味。

分単位の多忙なスケジュールをこなしながら、なぜ新たな送迎業務に挑むことにしたのか。きっかけは、福祉輸送の現場で感じた送迎の魅力でした。「透析などで大変な思いをされている利用者の方が、車内ではいつも明るく話してくださる。送迎時のコミュニケーションの大切さや楽しさを実感し、もっとこの仕事に関わりたいと思うようになりました」と岩崎さんは語ります。

家庭では、子どもたちに家事を教え込み、メモを介して炊事や洗濯などの作業を分担。家族と協力しながら、自身のキャリアを切り開きます。

**イコーデによってもっと住みやすい地域に**

岩崎さんの願いは、イコーデが普及していくことにより、地域がもっと住みやすくなること。「交通に不便を感じている方はもちろん、大人から子どもまで誰もが気軽に利用できるサービスになつてほしい。『帰りのバスがない時でも、イコーデがある』と安心してもらえたらいいなと思います」。イコーデで新たな乗客に出会えるのを、誰よりも楽しみにしています。

